

The Behaviormetric  
Society of Japan



2010年9月22日(水)～25日(土)

**日本行動計量学会**  
—— 第38回大会



**埼玉大学**  
Saitama University

2010

# 日本行動計量学会

## 第38回大会 プログラム

会員各位

2010年度の日本行動計量学会第38回大会の開催をお引き受けしました埼玉大学の松本でございます。

本年9月の大会の際には、行動計量学会会員のみなさまの来校を、心より歓迎申し上げます。埼玉大学の上井喜彦学長からも、学会員のみなさまによろしくお伝えするよう、指示を受けております。

埼玉大学は、さいたま市(旧浦和市)の郊外に位置し、最寄り駅の北浦和(京浜東北線)および南与野(埼京線)は東京の都心から約30分の距離にあります。学部の構成は、教養学部、教育学部、経済学部、理学部、工学部の5学部、大学院の理工学研究科が加わり、比較的小規模な総合大学に相当します。

昨年度から、新たに、埼玉大学社会調査研究センター(SSRC)を発足させ、自治体などからの調査研究の受託、ならびに、社会調査士の育成教育に着手しております。同センターの運営においては、行動計量学会の理事長である飽戸弘先生をはじめ、行動計量学会関係の先生方にアドバイザーやコーディネイターとしてご協力をいただいております。大会の開催に際しましても、学外の方々のご援助を頂戴できれば幸いに存じます。

最後に、9月の大会でお目に掛かかれることを心待ちにするとともに、みなさまのご健勝を念じ上げます。

第38回大会実行委員長 松本 正生

# 大会参加の皆様へ

日本行動計量学会第 38 回大会を下記の要領で開催いたします。是非ご参加くださいませよう、ご案内申し上げます。

◆期 日： 2010年9月22日（水）チュートリアル・セミナー  
2010年9月23日（木・祝）、24日（金）、25日（土）

◆会 場： 9月22日のみ  
埼玉大学 東京ステーションカレッジ（東京駅 JR サピアタワー内）  
9月23日～25日  
埼玉大学 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

## ◆受付時間

◇9月22日（チュートリアル・セミナー）  
受付開始時間： 12時30分から  
◇9月23日、24日、25日  
受付開始時間： 9時から

## ◆参加費

◇チュートリアル・セミナー参加費  
正会員 5,000円 非会員 6,000円

◇大会参加費：

	正会員	準会員 [学生]	非会員 [一般]	非会員 [学生]
事前払込	5,000円	4,000 (1,000)円	6,000 (3,000)円	5,000 (2,000)円
当日支払	7,000円	5,000 (2,000)円	7,000 (4,000)円	6,000 (3,000)円

※（ ）内は抄録集代を除いた金額

## ◆懇親会：

◇日 時： 2010年9月24日（金）17：45～19：45  
◇会 場： 埼玉大学 大学会館3階 大集会室  
◇会 費：

	正会員	学生 [準会員・非会員]	非会員 [一般]
事前払込	4,000円	2,000円	4,000円
当日支払	5,000円	3,000円	5,000円

## ◆抄録集購入：

抄録集代： 3,000円

ご希望の方は、実行委員会事務局（office@bsj2010.org）まで、お名前、ご所属、購入部数、郵送先をご連絡ください。郵送料として+500円をお願いします。

## ◆大会参加申込方法

日本行動計量学会第 38 回大会ホームページ上のフォームからお申し込みく

ださい。メニューバーの「事前参加申込」をクリックしてください。

事前申込・振込期間は、2010年6月15日（火）～8月31日（火）です。  
（9月1日（水）以降は、会場での当日支払となります。）

#### ◆参加費等振込先

◇銀行口座：埼玉りそな銀行（銀行コード 0017）  
さいたま営業部（店番 500）  
普通 4000815  
日本行動計量学会大会実行委員会

◇振替口座：ゆうちょ銀行  
00140-7-734116  
日本行動計量学会大会実行委員会

#### ◆連絡先

◇日本行動計量学会第38回大会への問い合わせ、申込などに関する連絡先  
〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255  
埼玉大学社会調査研究センター内  
日本行動計量学会第38回大会事務局 担当：岸本真佐子  
e-mail: office@bsj2010.org  
URL: <http://www.bsj2010.org/>  
Tel. 090-6563-5249, Fax. 048-858-3554

◇日本行動計量学会入会申込および住所変更などに関する連絡先  
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 (株)国際文献印刷社内  
日本行動計量学会係 担当：岸  
e-mail: bsj-post@bunken.co.jp  
Tel. 03-5389-6209, Fax. 03-3368-2822

## 発表者の皆様へ

- (1) 各報告の発表時間は、原則として20分です。
- (2) 大学側でご用意できる発表用のPCのOSはWindowsのみとなります。発表には液晶プロジェクターが利用できます。なお、PCはご自身のものをご持参いただいても結構です。
- (3) 発表データは、Microsoft Power Pointでの作成を推奨します（Power Pointのバージョンは2003です）。それ以外のファイル形式には対応できない場合があります。
- (4) 発表用の資料は原則として抄録集に掲載されたものとします。補足資料を利用する場合は、配付用プリント50部をご持参ください。

# 抄録作成要領

研究発表を申し込まれた方は以下の要領で抄録原稿を作成して大会ホームページの投稿ページよりご送信ください。

※下記の「1.抄録原稿作成要領」にとらわれず、直近の学会抄録集を参考にして原稿を作成されても構いませんが、原稿分量（A4用紙 2 ページないし 4 ページ）と余白幅（上下 30mm、左右 25mm）は厳守していただくようお願いします。

## 1. 抄録原稿作成要領

### （1）作成方法

原稿作成には原則として適切な文書処理ソフトウェアを使用し、手書きは避けてください。

### （2）原稿分量

必ず A4 用紙 2 ページないし 4 ページで作成してください（奇数ページですと空白のページができます）。

### （3）文字サイズ

10～12 ポイントとしてください。

### （4）レイアウト

上下 30mm、左右 25mm の余白を設定してください。

#### ●1 ページ目

1 行目:発表題目 18 ポイントで中央揃え（副題がある場合は次行送り 14 ポイント中央揃え）

2 行目:空白

3 行目:発表者氏名(入りきらない場合は次行送り、発表者には氏名の前に○印)

4 行目:所属(大学の場合は学部名も記載,入りきらない場合は次行送り)

5・6 行目:空白

7 行目以降:本文

#### ●2 ページ目

1 行目～:本文

### （5）図表

白黒印刷でも線種等の判別ができるように作成してください。また、印刷領域外にはみ出さないように留意してください。

### （6）ページ番号

ページ番号は記入しないでください（抄録集作成時に実行委員会で指定します）。

### （7）連絡先

必要な場合は、原稿の末尾に E-mail アドレスを記入してください。

## 2. 投稿方法

大会ホームページの投稿フォームにより PDF あるいは MS-Word 形式で送信していただきます。

具体的な方法については、改めて大会ホームページ上でお知らせ致します。

# チュートリアル・セミナー

## "Visual Aspects of Web Survey Design"

ミシガン大学 M・クーパー氏

◆日時： 2010年9月22日（水）日本行動計量学会第38回大会1日目  
13:30~16:30（受付は12:30から）

◆会場： 埼玉大学 東京ステーションカレッジ

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 1-7-12 JR サピアタワー9階

電話：03-5224-8751 FAX：03-5224-8752

窓口時間：平日・土曜 9:00~20:00

※当日は3階受付にお立ち寄りください。

《会場地図》



◆参加費： 会員 5,000円 非会員 6,000円

◆定員： 50名

◆申込方法： 大会ホームページのフォームからお申し込みください。

◆申込期間： 6月中旬より開始します。

◆問い合わせ先： チュートリアル・セミナーに関するお問い合わせ先は、大会事務局  
(090-6563-5249) までお願いします。

## 記念講演

### "The Future of Mixed-Mode Surveys"

- ◆講演者： ミシガン大学 M. クーパー教授
- ◆日時： 2010年9月24日（金）日本行動計量学会第38回大会3日目  
16:30~17:30
- ◆会場： 埼玉大学 教養教育1号館301教室
- ◆共催： 埼玉大学社会調査研究センター
- ◆協賛： 埼玉りそな銀行、読売新聞東京本社さいたま支局

# シンポジウム

## 官学共同研究の現状と可能性

～大学は自治体の政策形成にどのように貢献すべきか～

### ◆パネラー

◇政策提言型の官学共同調査研究と大学の役割

久保田尚（埼玉大学大学院理工学研究科教授、埼玉大学社会調査研究センター）

◇埼玉県と県内大学との連携による政策研究

池田達雄（埼玉県企画財政部長）

◇アメリカにおける大学と自治体との共同研究の実態

飯田 健（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科助教）

◇日本における官学共同研究の実態とあり方

久野美和子（埼玉大学特命教授、元経済産業省関東経済産業局産業部次長）

### ◆司 会・コーディネーター

松本正生（埼玉大学経済学部教授、埼玉大学社会調査研究センター長）

◆日 時： 2010年9月25日（土） 15：00～17：00

◆会 場： 埼玉大学教養教育1号館 301教室

◆定 員： 350名

◆参加費： 無料

◆主 催： 埼玉大学社会調査研究センター

◆共 催： 日本行動計量学会

◆協 賛： 埼玉りそな銀行

（財）埼玉りそな産業協力財団

読売新聞東京本社さいたま支局





# 大会会場について

埼玉大学の各最寄り駅は、左ページの地図をご覧ください、各駅からのバスは以下をご参照ください。

※学会期間中は、下記時刻以外のバスが増発されます。

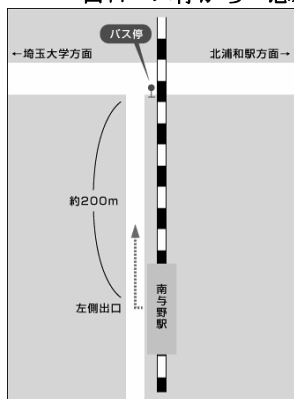
## ◆ JR 京浜東北線「北浦和駅」西口下車→バス「埼玉大学」ゆき（終点）



時	平日	土曜	日曜
8	04 09 14 19 23 27 31 35 39 43 48 55	00 10 20 30 40 50	05 20 35 45 55
9	02 08 14 21 28 34 40 45 51 56	00 10 20 30 40 50	05 20 35 50
10	01 05 09 13 17 21 25 32 40 50 58	00 10 20 30 40 50	05 20 35 50
11	09 19 28 38 48 58	00 10 20 30 40 50	05 20 35 50
12	08 18 28 38 48 58	00 12 24 36 48	05 20 35 50
13	08 18 28 38 48 58	00 12 24 36 48	05 20 35 50
14	08 18 28 38 48 56	00 12 24 36 48	05 20 35 50
15	03 09 18 28 39 50 59	00 12 24 36 48	05 20 35 50
16	10 21 31 37 43 49 54	00 10 20 30 40 50	05 20 35 50
17	01 08 16 24 32 39 46 53	00 10 20 30 40 50	05 20 35 50
18	00 07 14 21 28 35 42 49 56	00 10 20 30 40 50	05 20 35 50
19	03 10 17 25 34 42 51	00 15 30 50	05 20 35 50

## ◆ JR 埼京線「南与野駅」下車→北入口バス停から「埼玉大学」ゆき（終点）

→西口バス停から「志木駅東口」ゆき（「埼玉大学」下車）、「埼玉大学」ゆき（終点）



時	平日	土曜	日曜・祝日
8	02 08 13 18 <span style="border: 1px solid black;">20</span> 23 27 31 35 39 43 <span style="border: 1px solid black;">45</span> 47 52 59	04 14 24 <span style="border: 1px solid black;">30</span> 34 44 54	09 24 <span style="border: 1px solid black;">30</span> 39 49 59
9	06 12 18 25 <span style="border: 1px solid black;">26</span> 32 38 44 49 55	04 14 <span style="border: 1px solid black;">18</span> 24 34 44 <span style="border: 1px solid black;">50</span> 54	09 <span style="border: 1px solid black;">18</span> 24 39 <span style="border: 1px solid black;">50</span> 54
10	00 05 09 <span style="border: 1px solid black;">10</span> 13 <span style="border: 1px solid black;">15</span> 17 <span style="border: 1px solid black;">20</span> 21 25 29 36 44 <span style="border: 1px solid black;">44</span> 54	04 14 <span style="border: 1px solid black;">22</span> 24 34 44 54 <span style="border: 1px solid black;">55</span>	09 <span style="border: 1px solid black;">22</span> 24 39 54 <span style="border: 1px solid black;">55</span>
11	02 13 <span style="border: 1px solid black;">20</span> 23 32 42 52 <span style="border: 1px solid black;">58</span>	04 14 24 <span style="border: 1px solid black;">25</span> 34 44 54 <span style="border: 1px solid black;">58</span>	09 24 <span style="border: 1px solid black;">25</span> 39 54 <span style="border: 1px solid black;">58</span>
12	02 12 <span style="border: 1px solid black;">18</span> 22 32 <span style="border: 1px solid black;">40</span> 42 52	04 16 28 <span style="border: 1px solid black;">35</span> 40 52	09 24 <span style="border: 1px solid black;">35</span> 39 54
13	02 12 <span style="border: 1px solid black;">18</span> 22 32 42 52 <span style="border: 1px solid black;">52</span>	04 16 <span style="border: 1px solid black;">20</span> 28 40 52 <span style="border: 1px solid black;">57</span>	09 <span style="border: 1px solid black;">20</span> 24 39 54 <span style="border: 1px solid black;">57</span>
14	02 12 22 32 <span style="border: 1px solid black;">32</span> 42 52 <span style="border: 1px solid black;">57</span>	04 16 <span style="border: 1px solid black;">23</span> 28 40 52 <span style="border: 1px solid black;">55</span>	09 <span style="border: 1px solid black;">23</span> 24 39 54 <span style="border: 1px solid black;">55</span>
15	00 07 13 22 32 <span style="border: 1px solid black;">33</span> 43 54	04 16 <span style="border: 1px solid black;">22</span> 28 40 52	09 <span style="border: 1px solid black;">22</span> 24 39 54
16	03 <span style="border: 1px solid black;">10</span> 14 25 35 <span style="border: 1px solid black;">35</span> <span style="border: 1px solid black;">40</span> 41 47 53 <span style="border: 1px solid black;">53</span> 58	<span style="border: 1px solid black;">00</span> 04 14 24 <span style="border: 1px solid black;">24</span> 34 44 54 <span style="border: 1px solid black;">55</span>	<span style="border: 1px solid black;">00</span> 09 24 <span style="border: 1px solid black;">24</span> 39 54 <span style="border: 1px solid black;">55</span>
17	<span style="border: 1px solid black;">00</span> 05 12 20 28 <span style="border: 1px solid black;">30</span> <span style="border: 1px solid black;">36</span> 43 50 57 <span style="border: 1px solid black;">58</span>	04 14 <span style="border: 1px solid black;">20</span> 24 34 44 54 <span style="border: 1px solid black;">55</span>	09 <span style="border: 1px solid black;">20</span> 24 39 54 <span style="border: 1px solid black;">55</span>
18	04 11 18 <span style="border: 1px solid black;">20</span> 25 32 39 46 <span style="border: 1px solid black;">50</span> 53	04 14 <span style="border: 1px solid black;">20</span> 24 34 44 <span style="border: 1px solid black;">52</span> 54	09 <span style="border: 1px solid black;">20</span> 24 39 <span style="border: 1px solid black;">52</span> 54
19	00 07 14 21 29 <span style="border: 1px solid black;">36</span> 38 46 55	04 19 34 <span style="border: 1px solid black;">36</span> 54	09 24 <span style="border: 1px solid black;">36</span> 39 54

※ □は、南与野駅西口発です。

## ◆ 東武東上線「志木駅」東口下車→バス「南与野駅」ゆき（「埼玉大学」下車）



時	平日	土曜	日曜・祝日
8	18 35	25 58	25 58
9	10 32 58	35	35
10	33	10 35 58	10 35 58
11	02 30 52	38	38
12	17	15 54	15 54
13	04 36	18 55	18 55
14	10 38	30 58	30 58
15	18 48	38	38
16	37 58	10 34 57	10 34 57
17	30	22	22
18	16 47	02 42	02 42
19	10 37	37	37

## ◆ 埼玉大学から各駅までのバス時刻表

### ◇南与野駅北口經由北浦和駅行き

時	平 日	土 曜	日 曜・祝日
8	01 06 12 18 24 30 37 43 49 57	00 10 20 30 40 50	10 25 40 55
9	03 09 15 22 28 35 43 48 53 57	00 10 20 30 40 50	10 25 40 55
10	01 06 13 20 25 30 35 40 45 50 59	00 10 20 30 40 50	10 25 40 55
11	08 18 28 38 48 58	00 10 20 30 40 50	10 25 40 55
12	08 18 28 38 48 58	00 10 20 32 44 56	10 25 35 45 55
13	08 18 28 38 48 58	08 20 32 44 56	10 25 40 55
14	08 17 26 36 43 49 58	08 20 32 44 56	10 25 40 55
15	08 19 29 39 50	08 20 32 44 56	10 25 40 55
16	02 10 15 20 26 32 38 44 50 57	08 20 30 40 50	10 25 40 55
17	03 10 19 28 36 44 52 59	00 10 20 30 40 50	10 25 40 55
18	06 13 20 27 34 42 50 57	00 10 20 30 40 50	10 25 40 55
19	05 14 22 31 40 52	10 30 50	10 25 40 55

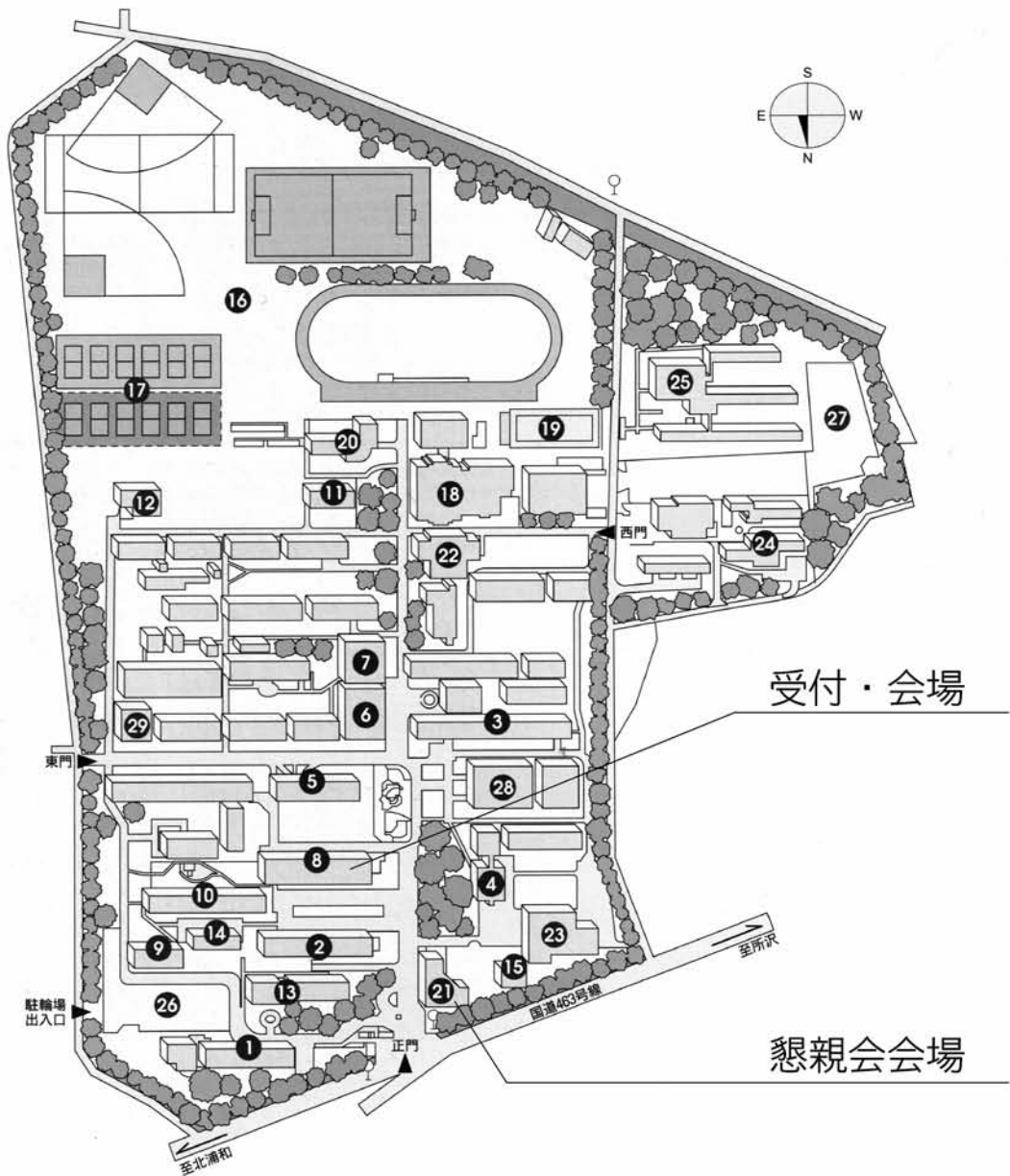
### ◇南与野駅西口行き

時	平 日	土 曜	日 曜・祝日
8	19 44	04 48	04 48
9	01 34 56 59	21 58	21 58
10	22 57	33 58	33 58
11	26 54	21	21
12	16 41	01 38	01 38
13	28	17 41	17 41
14	00 34	18 53	18 53
15	02 42	21	21
16	12 23 30 41 53	03 35 59	03 35 59
17	02 23 55	22 47	22 47
18	40	26	26
19	11 34	06	06

### ◇志木駅東口行き

時	平 日	土 曜	日 曜・祝日
8	28 53	38	38
9	34	26 58	26 58
10	18 52	30	30
11	28	03 33	03 33
12	06 26 48	06 43	06 43
13	26	28	28
14	00 40	05 31	05 31
15	05 43	03 30	03 30
16	18 30 43	08 32	08 32
17	03 38	03 28	03 28
18	06 28 58	03 28	03 28
19	44	00 44	00 44

# Campus Map キャンパスマップ



- |           |                                     |                        |                              |
|-----------|-------------------------------------|------------------------|------------------------------|
| ① 事務局     | ⑩ 教育機構棟<br>脳科学融合研究センター              | ⑭ 国際交流センター<br>学生交流・教育棟 | ⑳ けやきホール(第1学生食堂)             |
| ② 教養学部    | ⑪ 地域オープン<br>イノベーションセンター             | ⑮ 保健センター               | ㉑ 第2学生食堂                     |
| ③ 教育学部    | ⑫ 地圏科学研究センター                        | ⑯ グラウンド                | ㉒ 国際交流会館                     |
| ④ 経済学部    | ⑬ 総合研究機構棟<br>さいだいスポット21<br>国際交流センター | ⑰ テニスコート               | ㉓ 学生宿舎                       |
| ⑤ 理学部     | ⑭ 総合研究機構棟<br>さいだいスポット21<br>国際交流センター | ⑱ 総合体育館                | ㉔ 駐輪場                        |
| ⑥ 工学部     | ⑮ 総合研究機構棟<br>さいだいスポット21<br>国際交流センター | ⑲ プール                  | ㉕ 学生駐車場                      |
| ⑦ 総合研究棟   | ⑯ 総合研究機構棟<br>さいだいスポット21<br>国際交流センター | ㉑ 課外活動共用施設             | ㉖ 図書館                        |
| ⑧ 教養教育1号館 | ㉑ 総合研究機構棟<br>さいだいスポット21<br>国際交流センター | ㉒ 大学会館                 | ㉗ 科学分析支援センター<br>情報メディア基盤センター |
| ⑨ 教養教育2号館 |                                     |                        |                              |

## 会場の説明（前ページのキャンパスマップの番号をご参照ください）

◆9月23日～25日の各セッション（一般、特別、企画）は、**8**教養教育1号館で行います。

第1会場は、1階の104教室

第2会場は、1階の106教室

第3会場は、2階の202教室

第4会場は、2階の204教室

第5会場は、2階の206教室

◆9月24日（15：15～16：15）の総会は、**8**教養教育1号館の3階301教室で行います。

◆9月24日（16：30～17：30）の記念講演は、**8**教養教育1号館の3階301教室で行います。

◆9月24日（17：45～19：45）の懇親会は、**21**大学会館3階の大集会室で行います。

◆9月25日（15：00～17：00）のシンポジウムは、**8**教養教育1号館の3階301教室で行います。

※9月22日（水）のチュートリアルセミナーのみ**東京ステーションカレッジ**（JRサピアタワー）で行いますのでご注意ください。

## 昼食について

9月23日（木）～25日（土）の11時30分～13：00まで、**23**第2学生食堂（埼玉大学生協）で昼食をとることが出来ます。また弁当等の販売も行う予定ですので、ご利用ください。

また、**21**大学会館の1階にはコンビニエンスストア（ローソン）があります。

## 参加者へのお願い

- (1) 会期中、会場内では常に参加証をお付けください。
- (2) 会員の方は本プログラムをご持参下さい。
- (3) 駐車スペースがありませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。
- (4) 大学キャンパス内は禁煙となっております。喫煙の際は指定の喫煙所をご利用下さい。

## 会場見取り図

### 8 教養教育棟 3 階

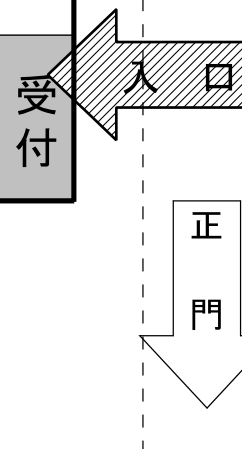
階段	W C	304教室	302教室	総会 記念講演 シンポジウム 301教室	階段
		305教室	303教室		

### 8 教養教育棟 2 階

階段	W C	第5会場 206教室	第4会場 204教室	第3会場 202教室	階段
		208教室	207教室	205教室	

### 8 教養教育棟 1 階

階段	W C	第2会場 106教室	第1会場 104教室	102教室	階段
		105教室	103教室	101教室	



9月22日(水)					
13:30~	チュートリアル・セミナー (東京ステーションカレッジ)				
16:30	"Visual Aspects of Web Survey Design" ミシガン大学 M. クーパー教授				
	第1会場(104教室)	第2会場(106教室)	第3会場(202教室)	第4会場(204教室)	第5会場(206教室)
9月23日(木・祝)					
10:00~ 12:00	特別セッション	企画委員セッション	特別セッション	一般セッション	特別セッション
	非対称データの解析 I	社会ネットワークの動態と制御	マーケティング戦略を導く計量分析	調査法・選挙の検討	リエゾン心身処方学の展開・行動計量学からの挑戦-1
昼 食					
13:00~ 15:00	特別セッション	企画委員セッション	企画委員セッション	企画委員セッション	特別セッション
	非対称データの解析 II	社会階層・社会移動研究の新展開	言語変化を追跡・予測する — 言語の定年調査から	調査環境の現状と実践的対応方法	リエゾン心身処方学の展開・行動計量学からの挑戦-2
15:15~ 17:15	特別セッション	企画委員セッション	一般セッション	特別セッション	
	非対称データの解析 III	組織論の行動計量学	テストデータとテキストデータ	インターネット調査(Web Survey)の可能性と課題	
9月24日(金)					
10:00~ 12:00	一般セッション	特別セッション	一般セッション	企画委員セッション	一般セッション
	解析手法の開発・検討	認知的・統計的・実践的意識決定モデルとしての「状況依存の焦点モデル」	調査データの分析—コミュニティーと意識—	RDD(Random Digit Dialing)法による電話調査の現状と課題	多母集団同時分析とマルチレベル分析
昼 食					
13:00~ 15:00	一般セッション	特別セッション	特別セッション	企画委員セッション	企画委員セッション
	主観評価と主観確率・バイズ	問題解決型統計教育の実践～分野別質保証の参照基準に照らして～	エリア・サンプリングにおける問題状況	選挙出口調査の方法と精度	ソーシャルキャピタルとマルチレベル分析
15:15~ 16:15	総 会 (教養教育1号館301教室)				
16:30~ 17:30	記念講演 (教養教育1号館301教室) "The Future of Mixed-Mode Surveys" ミシガン大学 M. クーパー教授				
17:45~ 19:45	懇親会 (大学会館3階大集会室)				
9月25日(土)					
10:00~ 12:00	企画委員セッション	特別セッション	企画委員セッション	企画委員セッション	一般セッション
	行動遺伝学の展開	複雑系のデータ解析(1)	中東諸国の世論調査	ノン・レスポンス(無回答)層へのアプローチ方法	マーケティング
昼 食					
12:45~ 14:45	特別セッション	特別セッション	企画委員セッション	企画委員セッション	特別セッション
	テキストマイニングによる特徴の分析	複雑系のデータ解析(2)	モノづくりの計量設計科学	政策提言型の官学共同調査研究と大学の役割	テレビ視聴と価値・政治意識の関連
15:00~ 17:00	シンポジウム「官学共同研究の現状と可能性～大学は自治体の政策形成にどのように貢献すべきか～」 (教養教育1号館301教室)				

9月22日(水)《大会1日目》13:30~16:30

チュートリアルセミナー(東京ステーションカレッジ)

## "Visual Aspects of Web Survey Design"

Mick P. Couper

Research Professor, Survey Research Center, University of Michigan

9月23日(木・祝日)《大会2日目》10:00~12:00

### 第1会場(104教室)特別セッション「非対称データの解析 I」

オーガナイザー: 岡太彬訓(多摩大学) 千野直仁(愛知学院大学)

司会者: 岡太彬訓(多摩大学)

討論者: 鈴木督久(日経リサーチ)

#### 1. 家族関係データに対する非対称 MDS の応用

小杉考司(山口大学) 藤澤隆史(長崎大学) 清水裕士(日本学術振興会・関西学院大学) 石盛真徳(京都光華女子大学) 渡邊太(大阪大学) 藤澤等(長崎県立大学)

#### 2. 最尤非対称多次元尺度構成法におけるデータ収集法の検討

佐部利真吾(愛知学院大学)

#### 3. 空間的相互作用モデルの“地図パターン問題”再考

水野勲(お茶の水女子大学)

### 第2会場(106教室)企画委員セッション「社会ネットワークの動態と制御」

オーガナイザー: 金井雅之(専修大学) 七條達弘(大阪府立大学)

司会者: 金井雅之(専修大学)

討論者: 高木英至(埼玉大学) 小林哲郎(国立情報学研究所)

#### 1. CSCW の時間と空間コントロール: 教育用 SNS の可能性

秋吉美都(専修大学)

#### 2. 比較的小規模な SNS におけるパネルデータ分析:

ネットワーク構造と活動水準に注目して

藤山英樹(獨協大学)

#### 3. ポイント制度による SNS の活性化

七條達弘(大阪府立大学)



### 第3会場（202教室）特別セッション「マーケティング戦略を導く計量分析」

オーガナイザー： 朝野熙彦（多摩大学）

司会者： 朝野熙彦（多摩大学）

討論者： 奥瀬喜之（専修大学）

#### 1. 製品時系列に沿った消費者の Blog 記事特性の把握

増田純也（立教大学） 中山厚穂（長崎大学） 鶴見裕之（横浜国立大学）

#### 2. 購買履歴データによる市場細分化からマルチエージェントシミュレーションへの試み

藤居誠（東急エージェンシー）

#### 3. コンジョイントモデルによる献血者の重視項目の検討

田久浩志（中部学院大学）

#### 4. パッケージの類似度認知と選好判断の関係からみる消費者の潜在的意思決定メカニズムへのアプローチ ～ビール缶ラベルを用いて～

高桑瞳（トークアイ） 小野史典（東京大学）

### 第4会場（204教室）一般セッション「調査法・選挙の検討」

司会者： 前田忠彦（統計数理研究所）

#### 1. 返信封筒を捨てないで！郵送調査の「御中」の意味するもの

菅野剛（日本大学）

#### 2. 電子書籍と読書行動についての実験調査

矢口博之（東京電機大学） 大隅昇（統計数理研究所名誉教授）

#### 3. ウェブ調査から何を読み取るかー基底意識に関する実験調査ー

林文（東洋英和女学院大学） 大隅昇（統計数理研究所名誉教授）

#### 4. What Happens Depends on When It Happens:

**Continuous or Ordered Event History Analysis Using Copula**

福元健太郎（学習院大学）

#### 5. 社会的規範に関する遵守レベル認知が対人評価におよぼす影響

上原依子・釘原直樹（大阪大学）

### 第5会場（206教室）特別セッション

「リエゾン心身処方学の展開-行動計量学からの挑戦-1」

オーガナイザー： 丸山久美子（北陸学院大学）

司会者： 丸山久美子（北陸学院大学）

討論者： 折笠秀樹（富山大学） 木島恒一（北陸学院大学）

1. 研究分野をこえて-行動計量学的アプローチ

江島伸興 (大分大学)

2. 人間の意志決定と幸福の条件に関する行動計量学的アプローチ

竹村和久 (早稲田大学)

3. QOLの新しい展開

田崎美弥子 (東邦大学)

9月23日(木・祝日)《大会2日目》13:00~15:00

**第1会場(104教室)特別セッション「非対称データの解析 II」**

オーガナイザー: 岡太彬訓 (多摩大学) 千野直仁 (愛知学院大学)

司会者: 岡太彬訓 (多摩大学)

討論者: 足立浩平 (大阪大学)

1. 古典的 MDS の拡張としての非対称 MDS の定式化

熊谷敦也 (日本大学)

2. 非対称 MDS での低次元解の構成のある試み

今泉忠 (多摩大学)

3. Independence of some test statistics for symmetry (2)

千野直仁・佐部利真吾 (愛知学院大学)

**第2会場(106教室)企画委員セッション「社会階層・社会移動研究の新展開」**

オーガナイザー: 佐藤嘉倫 (東北大学)

司会者: 佐藤嘉倫 (東北大学)

討論者: 今井順 (東北大学)

1. 近年における階層移動の構造と変動

三輪哲 (東北大学)

2. 二極化する若年労働市場

中澤渉 (東洋大学)

3. 所得格差の拡大をもたらすメカニズムの検討: 職業間格差に注目して

長松奈美江 (関西学院大学)

### 第3会場（202教室）企画委員セッション

#### 「言語変化を追跡・予測する——言語の定点経年調査から」

オーガナイザー： 杉戸清樹（国立国語研究所）

司会者： 杉戸清樹（国立国語研究所）

討論者： 田中ゆかり（日本大学） 吉野諒三（統計数理研究所）

#### 1. 国立国語研究所の継続する言語の定点経年調査

朝日祥之（国立国語研究所）

#### 2. 敬語の丁寧さ

阿部貴人（国立国語研究所） 松田謙次郎（神戸松蔭女子学院大学） 松丸真大（滋賀大学）

#### 3. 言語生活の生涯変化は多変量解析で予測可能か：アクセントや敬語意識を例に

横山詔一・井上文子・阿部貴人（国立国語研究所）

### 第4会場（204教室）企画委員セッション

#### 「調査環境の現状と実践的対応方法—電話調査とWEB調査における取り組み—」

オーガナイザー： 松本正生（埼玉大学）

司会者： 窪田知久（読売新聞社）

討論者： 鈴木督久（日経リサーチ）

#### 1. 電話調査(追跡・割当・任意法)の実査管理の特徴と可能性

中川純一（もしもしホットライン）

#### 2. 携帯電話限定層が電話調査に及ぼす影響について

福田昌史（毎日新聞社）

#### 3. 市場調査における調査の品質とWEBモニター調査での取り組み

佐藤寧（日経リサーチ）

### 第5会場（206教室）特別セッション

#### 「リエゾン心身処方学の展開-行動計量学からの挑戦-2」

オーガナイザー： 丸山久美子（北陸学院大学）

司会者： 丸山久美子（北陸学院大学）

討論者： 吉井光信（北陸学院大学） 松原望（聖学院大学大学院）

1. スピリチュアル・ケアの行動計量学的アプローチ

西山悦子 (新潟大学)

2. 高齢者の問題行動への提言

山村豊 (立正大学)

3. アスペルガー症候群支援者のQOL

小泉晋 (岐阜聖徳学園大学)

9月23日(木・祝日)《大会2日目》15:15~17:15

**第1会場(104教室)特別セッション「非対称データの解析Ⅲ」**

オーガナイザー: 岡太彬訓(多摩大学) 千野直仁(愛知学院大学)

司会者: 千野直仁(愛知学院大学)

討論者: 竹内光悦(実践女子大学)

1. 非対称階層的重複クラスタリング法の提案

齊藤裕一・宿久洋(同志社大学)

2. 3次元非対称データの基準化法の提案

中山厚穂(長崎大学) 岡太彬訓(多摩大学)

3. 正準分解による非対称類似度の分析

岡太彬訓(多摩大学)

**第2会場(106教室)企画委員セッション「組織論の行動計量学」**

オーガナイザー: 高橋伸夫(東京大学) 藤田英樹(東洋大学) 稲水伸行(筑波大学)

司会者: 藤田英樹(東洋大学)

討論者: 鈴木督久(日経リサーチ) 小坂恕(青森公立大学)

1. R&Dの方向性を規定する要因: 技術の多様化・組織の革新性・開発スピード

貴志奈央子(明治学院大学)

2. 企業ポイント交換ネットワークにおける形成要因の分析

勝又壮太郎・若林隆久(東京大学)

3. 組織の文化変容モデル: シミュレーションとその実証分析

稲水伸行(筑波大学) 大川洋史(東京大学)

### 第3会場（202教室）一般セッション「テストデータとテキストデータ」

司会者： 植野真臣（電気通信大学）

#### 1. 日本語コンピュータ適応型テスト J-CAT の開発

菊地賢一（東邦大学） 今井新悟（筑波大学） 中村洋一（清泉女学院短期大学）

#### 2. 統合型テストプラットフォームの開発

平村健勝（東京工業大学） 大久保智哉（独立行政法人大学入試センター） 前川眞一（東京工業大学）

#### 3. 学力テスト結果から能力記述表を作成する方法

松宮功（京都府総合教育センター） 荘島宏二郎（大学入試センター研究開発部）

#### 4. 分析機能を柔軟に改変・追加できる計量テキスト分析の環境「KH Coder」

樋口耕一（立命館大学）

#### 5. 銀行ディスクロージャーのテキストデータにおけるトップメッセージとリスク管理項目との関連性分析

安川武彦（あらた監査法人）

### 第4会場（204教室）特別セッション

#### 「インターネット調査（Web Survey）の可能性と課題」

オーガナイザー： 松本正生（埼玉大学）

司会者： 小須田巖（インテージ）

討論者： 本多則恵（内閣府） 住本隆（アダムス・コミュニケーション）

#### 1. インターネットによる世論調査の可能性

氏家豊（埼玉大学）

#### 2. Webモニター調査の課題と特性

松本正生（埼玉大学）

#### 3. インターネット調査における調査票設計

石原公英・多田良子（クロス・マーケティング）

9月24日（金）《大会3日目》10:00～12:00

### 第1会場（104教室）一般セッション「解析手法の開発・検討」

司会者： 菊地賢一（東邦大学）

1. 乗法型非対称多次元尺度法

岡本安晴 (日本女子大学)

2. 因子分析の新たな定式化 — 特殊因子が現れる母数モデル —

足立浩平 (大阪大学)

3. クラスタワイズ非線形回帰分析

西田豊 (大阪大学)

4. 回帰分析における連続・離散変換の影響

馬場康維 (統計数理研究所)

5. Estimation of ATRISCAL by steepest descent method

荘島宏二郎 (大学入試センター)

第2会場 (106教室) 特別セッション

「認知的・統計的・実践的意思決定モデルとしての『状況依存的焦点モデル』

オーガナイザー： 藤井聡 (京都大学) 竹村和久 (早稲田大学)

司会者： 藤井聡 (京都大学)

討論者： 吉野諒三 (統計数理研究所)

1. 状況依存的焦点モデルの基礎

竹村和久 (早稲田大学)

2. 交通情報提供に対する焦点化についての実験研究

菊池輝 (東北工業大学)

3. バス利便性への焦点化による居住地選択誘導のためのコミュニケーション

谷口綾子 (筑波大学)

4. カテゴリー判断における焦点化効果：心の箱モデルによる説明

羽鳥剛史 (東京工業大学)

第3会場 (202教室) 一般セッション「調査データの分析—コミュニティと意識—」

司会者： 高木英至 (埼玉大学)

1. 宗教性の構造の国際比較——ISSP2008 のデータ分析——

真鍋一史 (青山学院大学)

2. 高齢者向け公的賃貸住宅の現状 (2) —軽井沢町シルバーハウジングの調査から—

馬場康徳 (立正大学)

3. 事業協同組合における共同事業が成果をあげられない要因 -多重対応分析による検討-

関哲人 (北海学園大学)

#### 4. 意思決定方略に対する年齢の影響と生活の質(QOL)

渡部諭 (東北芸術工科大学) 澁谷泰秀 (青森大学)

#### 5. コミュニティ意識と犯罪被害・犯罪不安との関連—パネルデータによる因果検討—

島田貴仁・雨宮護 (科学警察研究所) 高木大資 (東京大学) 岩倉希 (法政大学)

### 第4会場 (204教室) 企画委員セッション

#### 「RDD(Random Digit Dialing)法による電話調査の現状と課題」

オーガナイザー： 松田映二 (朝日新聞社)

司会者： 僧都儀尚 (北海道新聞情報研究所)

討論者： 谷口哲一郎 (世論総合研究所)

##### 1. 電話調査の環境変化と手法遷移

松田映二 (朝日新聞社)

##### 2. RDD調査の精度を高めるために—調査会社の視点から—

槇純子 (日経リサーチ)

##### 3. アメリカのRDD調査の現状と課題—調査研究事例から—

松本渉 (関西大学)

### 第5会場 (206教室) 一般セッション「多母集団同時分析とマルチレベル分析」

司会者： 橋本貴充 (大学入試センター)

##### 1. マルチレベルモデルにおける分散母数の階層化

岡田謙介 (専修大学) 北村哲史 (日本ユニシス) 前川眞一 (東京工業大学)

##### 2. 自治体行政における目的指向型分権改革は、本当にチームワークを脅かすか? : 組織のフラット化が職員のコンテクスチュアルパフォーマンスに及ぼす文脈効果

朴堯星・坂野達郎 (東京工業大学)

##### 3. マルチレベル分析を用いた一般的信頼形成モデルの検証

大崎裕子・坂野達郎 (東京工業大学)

##### 4. 複数人を対象とした動的因子分析

—100日程度のBig Five項目の測定と個人内変動のモデル化—

紺田広明・清水和秋 (関西大学)

##### 5. 探索的なモデル選択過程を想定する多母集団同時解析

宇佐美慧 (東京大学・日本学術振興会)

第1会場(104教室) 一般セッション「主観評価と主観確率・ベイズ」

司会者： 矢口博之(東京電機大学)

1. 核函数法と Bayes 法とに依る分布推定の比較(3)

岸清武

2. 変動するターゲットを用いて単純構造を求めるベイジアン因子分析

橋本翔(大阪大学)

3. 食品安全事故対応のベイズ社会動学

松原望(聖学院大学)

4. 回答者ごとの回答傾向を考慮した主観評価評定値の解析

—項目応答理論の枠組みを用いた回答傾向のモデル化—

高倉潤也・関根真弘・三原功雄・山内康晋(東芝研究開発センター)

5. 評価関数の進化

高木英至(埼玉大学)

第2会場(106教室) 特別セッション

「問題解決型統計教育の実践～分野別質保証の参照基準に照らして～」

オーガナイザー： 竹内光悦(実践女子大学)

司会者： 村上征勝(同志社大学)

討論者： 岡太彬訓・今泉忠(多摩大学)

1. 大学生の統計数理処理能力～ジェネリックスキル評価と育成の試み～

星千枝・三代祐子(ベネッセ) 酒井麻衣子(多摩大学)

2. 高等教育における公的統計の2次利用の枠組み

～経済・社会科学における実証分析力の育成

山口幸三・秋山裕美・後藤武彦(統計センター) 伊藤伸介(明海大学) 渡辺美智子(東洋大学)

3. e-learning による統計教育の実践と統計教育の質保証

金澤悠介・片山琴絵・廣瀬毅士・山口和範(立教大学)

4. 問題解決力育成を目指した複合デジタル教材の活用

竹内光悦(実践女子大学) 中川一成(エスミ)



### 第3会場（202教室）特別セッション「エリア・サンプリングにおける問題状況」

オーガナイザー： 氏家豊（埼玉大学）

司会者： 黒崎光憲（サーベイリサーチセンター）

討論者： 小柳雅司（ビデオ・リサーチ）

#### 1. 調査地点ならびに世帯の抽出における問題状況

氏家豊（埼玉大学）

#### 2. エリア・サンプリングにおける誤差問題の実践的検証と考察

鄭躍軍（同志社大学）

#### 3. フィールド・ワークにおける問題と課題

土屋堯・吉野治（サーベイリサーチセンター）

### 第4会場（204教室）企画委員セッション「選挙出口調査の方法と精度」

オーガナイザー： 松本正生（埼玉大学）

司会者： 松本正生（埼玉大学）

討論者： 峰久和哲（朝日新聞社）

#### 1. 毎日新聞出口調査の検証

福田昌史（毎日新聞社）

#### 2. 中日新聞出口調査の検証－調査拒否者が与える影響－

大栗正彦（中日新聞社）

#### 3. 北海道新聞出口調査の検証－期日前・投開票日のデータ分析とその活用術－

僧都儀尚（北海道新聞社）

### 第5会場（206教室）企画委員セッション「ソーシャルキャピタルとマルチレベル分析」

オーガナイザー： 山岡和枝（国立保健医療科学院） 岡田謙介（専修大学）

司会者： 山岡和枝（国立保健医療科学院） 岡田謙介（専修大学）

討論者： 南風原朝和（東京大学） 前川眞一（東京工業大学）

#### 1. ソーシャルキャピタル研究について

稲葉陽二（日本大学）

#### 2. マルチレベル分析を用いたソーシャルキャピタル研究の実際

市田行信（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）

#### 3. ソーシャル・キャピタルと健康について考える：全国調査に基づくエビデンスより

濱野強（島根大学）

9月24日(金)《大会3日目》15:15~16:15

総会(教養教育1号館301教室)

9月24日(金)《大会3日目》16:30~17:30

記念講演(教養教育1号館301教室)

## "The Future of Mixed-Mode Surveys"

Mick P. Couper

Research Professor, Survey Research Center, University of Michigan

9月24日(金)《大会3日目》17:45~19:45

懇親会(大学会館3階大集会室)

9月25日(土)《大会4日目》10:00~12:00

### 第1会場(104教室)企画委員セッション「行動遺伝学の新展開」

オーガナイザー: 安藤寿康(慶應義塾大学) 尾崎幸謙(統計数理研究所)

司会者: 安藤寿康(慶應義塾大学)

討論者: 荘島宏二郎(大学入試センター)

#### 1. 行動遺伝学の方法とその中高生双生児データへの適用

山形伸二(慶應義塾大学)

#### 2. 行動遺伝学が実験経済学と出会うとき: GenoEconomics の展開

平石界(京都大学)

#### 3. 学童期における多動・不注意傾向と学業成績

藤澤啓子(慶應義塾大学)

#### 4. 性同一性障害傾向の行動遺伝学分析

佐々木掌子(日本学術振興会・東京大学)

#### 5. 統計学的視点からみた行動遺伝学

尾崎幸謙(統計数理研究所)

## 第2会場（106教室）特別セッション「複雑系のデータ解析(1)」

オーガナイザー： 水嶋友昭（インターネット総合研究所）

司会者： 丸山久美子（北陸学院大学）

討論者： 岩崎学（成蹊大学） 狩野裕（大阪大学） 千野直仁（愛知学院大学）

### 1. 指尖から生体複雑性の探索とフラクタル解析—数理モデルの作成とその検証— (1)

苗鉄軍（コンピュータコンビニエンス） 雄山真弓（大阪大学）

### 2. 指尖から生体複雑性の探索とフラクタル解析—数理モデルの作成とその検証— (2)

雄山真弓（大阪大学） 苗鉄軍（コンピュータコンビニエンス）

### 3. 統計的数理モデル融合と現象数理学

中村和幸（明治大学）

### 4. インターネット攻撃のベイズ分析による推定

水嶋友昭（インターネット総合研究所）

## 第3会場（202教室）企画委員セッション「中東諸国の世論調査」

オーガナイザー： 青山弘之（東京外国語大学） 浜中新吾（山形大学）

司会者： 浜中新吾（山形大学）

討論者： 真鍋一史（青山学院大学） 吉野諒三（統計数理研究所）

### 1. アラブ諸国民の政治的認知地図

青山弘之（東京外国語大学）

### 2. アラブ諸国民の越境移動に関する意識と経験

高岡豊（上智大学）

### 3. イラクとレバノンの世論調査について

山尾大（東京外国語大学・日本学術振興会） 溝渕正季（上智大学）

## 第4会場（204教室）企画委員セッション

### 「ノン・レスポンス（無回答）層へのアプローチ方法」

オーガナイザー： 松本正生（埼玉大学）

司会者： 久保田尚（埼玉大学）

討論者： 藤井聡（京都大学）

1. 交通社会実験によるノンレスポンスへの影響に関する研究

小嶋文 (埼玉大学)

2. パーソントリップ調査の無回答への対応策に関する基礎研究

平見憲司 (計量計画研究所)

3. 質的インタビュー調査による行動計量データの補完について

羽鳥剛史 (東京工業大学)

**第5会場 (206教室) 一般セッション「マーケティング」**

司会者: 高木英至 (埼玉大学)

1. 選好空間モデリングへの地球統計学の応用

朝野熙彦 (多摩大学)

2. ブランドに対する態度と連想ネットワーク

上田雅夫 ((財) 流通経済研究所)

3. マーケット・セグメンテーションと年齢意識

多田良子 (クロス・マーケティング) 戸塚由華・鈴木徳子・南部浩司 (ライオン)

4. アイスクリームブランドに関する消費者の嗜好パターン分析

河野康成 (立教大学リーダーシップ研究所) 大井忠賢 (コールド・ストーン・クリ  
ーマリー・ジャパン)

5. 演奏音の間奏および後奏の印象に及ぼす歌詞の影響について

森数馬 (広島大学)

9月25日 (土) 《大会4日目》 12:45~14:45

**第1会場 (104教室) 特別セッション「テキストマイニングによる特徴の分析」**

オーガナイザー: いたうたけひこ (和光大学)

司会者: 村井潤一郎 (文京学院大学)

討論者: 小木しのぶ (数理システム)

1. 朝日新聞と読売新聞の憲法記念日の社説のテキストマイニング

いたうたけひこ・目黒健太 (和光大学)

2. 看護におけるオノマトペのテキストマイニング

服部兼敏 (神戸市看護大学)

3. 裁判員裁判における立場の違いと言語の違いのテキストマイニング

堀田秀吾 (明治大学)

#### 4. 作家の文体特徴とテキストマイニング—文節の構造分析を中心として—

金明哲 (同志社大学)

### 第2会場 (106教室) 特別セッション「複雑系のデータ解析(2)」

オーガナイザー： 水島友昭 (インターネット総合研究所)

司会者： 丸山久美子 (北陸学院大学)

討論者： 岩崎学 (成蹊大学) 狩野裕 (大阪大学) 千野直仁 (愛知学院大学)

#### 1. ネットワーク上の現象における素過程について

白山晋 (東京大学)

#### 2. 画像認識における視線移動データの分析

江川陽・白山晋 (東京大学)

#### 3. 金融リスク管理と逆巾則、その現実的含意

川崎能典 (統計数理研究所)

#### 4. リスク社会の到来と社会的アノミー

天野徹 (明星大学)

### 第3会場 (202教室) 企画委員セッション「モノづくりの計量設計科学」

オーガナイザー： 椿広計・河村敏彦 (統計数理研究所)

司会者： 椿広計 (統計数理研究所)

討論者： 松原望 (聖学院大学) 福澤光啓 (東京大学)

#### 1. 品質工学における統計的側面

河村敏彦 (統計数理研究所)

#### 2. リスク評価のための数値実験統計学の確立

天坂格郎 (青山学院大学)

#### 3. ソフトウェア開発への品質工学の適用

立林和夫 (富士ゼロックス)

#### 4. パラメータ設計におけるシステム選択の研究

稲垣雄史 (元富士通ゼネラル)

**第4会場（A204教室）企画委員セッション「政策提言型の官学共同調査研究と大学の役割」**

オーガナイザー： 久保田尚（埼玉大学）

司会者： 久保田尚（埼玉大学）

討論者： 肥田利弘（さいたま市都市局）

**1. 交通計画分野における共同調査研究**

森本章倫（宇都宮大学）

**2. 交通工学・交通安全分野における共同調査研究**

坂本邦宏（埼玉大学）

**3. まちづくり分野における共同調査研究**

桑田仁（芝浦工業大学）

**第5会場（206教室）特別セッション「テレビ視聴と価値・政治意識の関連」**

オーガナイザー： 鮑戸弘（東洋英和女学院）

司会者： 鮑戸弘（東洋英和女学院）

討論者： 山田一成（法政大学）

**1. 本研究の理論背景と調査の概略**

鮑戸弘（東洋英和女学院大学）

**2. 政治意識とテレビ視聴**

稲葉哲郎（一橋大学）

**3. ソーシャルネットワークとテレビ視聴**

是永論（立教大学）

**4. メディアリテラシーとテレビ視聴**

服部弘（NHKアーカイブス）

9月25日(土)《大会4日目》15:00～17:00

シンポジウム(教養教育1号館301教室)

## 官学共同研究の現状と可能性

～大学は自治体の政策形成にどのように貢献すべきか～

### ◆パネラー

#### ◇政策提言型の官学共同調査研究と大学の役割

久保田尚(埼玉大学大学院理工学研究科教授、埼玉大学社会調査研究センター)

#### ◇埼玉県と県内大学との連携による政策研究

池田達雄(埼玉県企画財政部長)

#### ◇アメリカにおける大学と自治体との共同研究の実態

飯田健(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科助教)

#### ◇日本における官学共同研究の実態とあり方

久野美和子(埼玉大学特命教授、元経済産業省関東経済産業局産業部次長)

### ◆司会・コーディネーター

松本正生(埼玉大学経済学部教授、埼玉大学社会調査研究センター長)

## 日本行動計量学会 第38回大会

主 催： 日本行動計量学会第38回大会実行委員会

後 援： 埼玉大学

開催日： 2010年9月22日～25日

### ◎実行委員会

実行委員長：松本 正生（埼玉大学）

副実行委員長（企画担当）：松本 渉（関西大学）

副実行委員長（運営担当）：江口 幸治（埼玉大学）

### ○運営委員会

委員長：

江口 幸治（経済学部）

副委員長：

高木 英至（教養学部）

### ○企画委員会

委員長：

松本 渉（関西大学）

副委員長：

前田 忠彦（統計数理研究所）

委 員：（五十音順）

氏家 豊（社会調査研究センター）

久保田 尚（理工学研究科）

斉藤 友之（経済学部）

萩生田伸子（教育学部）

羽鳥 剛史（東京工業大学）

宮崎 雅人（経済学部）

矢口 博之（東京電機大学）

委 員：（五十音順）

阿部 貴人（国立国語研究所）

安藤 寿康（慶應義塾大学）

岩崎 学（成蹊大学）

稲水 伸行（筑波大学）

岡田 謙介（専修大学）

尾崎 幸謙（統計数理研究所）

金井 雅之（専修大学）

河村 敏彦（統計数理研究所）

佐藤 嘉倫（東北大学）

七條 達弘（大阪府立大学）

杉戸 清樹（国立国語研究所）

高橋 伸夫（東京大学）

椿 広計（統計数理研究所）

浜中 新吾（山形大学）

藤田 英樹（東洋大学）

藤田 泰昌（上智大学）

松田 映二（朝日新聞社）

松原 望（聖学院大学）

山岡 和枝（国立保健医療科学院）

吉田 清隆（成蹊大学）

吉野 諒三（統計数理研究所）

### ◆協 賛

株式会社 数理システム

福井コンピュータ株式会社

北大路書房

SAS Institute Japan

株式会社 ジーエフ

埼玉りそな銀行

テレビ埼玉

読売新聞東京本社さいたま支局

株式会社ドーコン

イーグルバス株式会社

株式会社 信陽堂

### ◆共 催

埼玉大学社会調査研究センター

### ◆後 援

埼玉大学